

未来を生きる子どもたちへのメッセージ ④

『命の水—中村哲氏—』

あるテレビ番組で、アフガニスタンの用水路を切り拓いた医師のことを取り上げていました。中村哲氏。パキスタンのペシャワールに赴任し、ハンセン病やアフガン難民の診療活動に従事していました。アフガニスタン東部の大干ばつを見て、医療活動と並行して用水路を拓くことになります。まさに農村復興に尽力したわけです。2003年に建設が始まり、2010年には全長25kmの灌漑用水が完成しました。中村氏は終始その先頭に立ち、井戸掘り、用水路建設、農業の復興に力を尽くしました。「無医村の医療活動だけでなく、アフガニスタンの人たちと一緒に「命の水」を掘りあてました。今手元に『中村哲対談集 人・水・命』があります。10人の方との対談を本にしました。「患者は水先案内人」「水が地球規模で減ってきている」「命をつなぐ用水路を掘る」など心に迫る言葉に溢れている書籍です。

10月のこのコーナーでも紹介しましたが、『津島の達人ジュニア歴史検定公式テキスト 津島の未来予想図』を出版しました。四度目の改訂となりました。

平成20年度、市内の郷土史家のメンバーで『尾張津島見聞録公式テキスト(一般)』を作成しました。平成22年度、この郷土テキストを小・中学生向けに書き直してほしいとの依頼があり、『尾張津島見聞録公式テキストジュニア版』を作成しました。以来、平成25年度と令和元年度に改訂版を作成し、現在は3冊目の『語り継ぎたい津島の歴史』というテキストを使用しています。重要語句をゴシック体にし、調べ学習のためにインデックスを付け、コラムを増やし、津島のゆるキャラにエピソードを語らせ、ジュニア検定の模擬試験や津島カルタの読み札など興味をもつ内容としました。

今回(令和7年度)の改訂では、まず本文を読み直し、間違っている箇所・文章表現が適切でない箇所の修正を図りました。「コラム」と「わかったよ・覚えよう」の欄を増やし、楽しいエピソード(人物史)も増やすことで津島の歴史に興味をもってもらうように編集しました。また近・現代史、文化・芸術のページを増やし、児童にとって身近な歴史の部分を多く取り上げました。写真資料を多くして、分かりやすくビジュアルに工夫しました。巻末のインデックス(索引)と年表も充実させ、活用しやすいよう書籍に仕上げました。このテキストを使い、検定と選手権に多数参加してほしいと思います。

新しい年となりました。今年も津島プライドを合言葉にチャレンジを忘れない一年にしたいと思います。

令和8年1月5日

津島市教育委員会
教育長 浅井厚視